

速報第2号

各関係機関団体の長
各病虫害防除員
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成20年度病虫害発生予察速報第2号について

このことについて、病虫害発生予察速報第2号を発表したので送付します。

果樹カメムシ類の果樹園への飛来時期は、県全体では9月3日頃と予想されますが、県南地域（筑後農林管内）では8月20日頃と早まることが見込まれます。

園内外をこまめに見回り、早期発見に努め、防除指導の徹底をお願いします。

果樹共通

- 1 対象作物：果樹全般（カキ、ナシ、カンキツ、ブドウ等）
- 2 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネカメムシ、ツアカメムシ、クサカメムシ）
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：平年並
カメムシ類の越冬量、ヒノキ球果量等から平成11年に類似した発生様相（後期発生）になると思われる（表1参照）。
- 5 飛来時期：9月3日頃（県南地域は8月20日頃）
7月下旬のヒノキ球果の口針鞘数によるカメムシ類の果樹園への飛来予測（県農業総合試験場が作成した予測式による）は、県全体では9月3日頃、県南地域では8月30日頃としていたが、県南地域ではやや早まることが予想される。
- 6 速報の根拠
 - （1）県下6か所の予察灯における7月5半旬～8月2半旬の主要3種カメムシの平均誘殺数599頭（多発年である16年を除く前9か年平均1,785頭、11年254頭）と前9か年平均より少ないが、8月以降増加傾向にある（図参照）。
 - （2）県下27か所における8月2半旬のヒノキ球果のピ・ティング調査で、寄生虫数（主要3種）平均16.4頭（平年8.5頭、11年13.7頭）。中でも県南地域（31.2頭）は多い。（表2参照）。
 - （3）県下27か所における8月2半旬のヒノキ球果の口針鞘数調査で、被害球果率70.7%（県南地域98.3%）。8月2半旬現在、口針鞘数平均8.0本。中でも県南地域の口針鞘数16.7本とカメムシ類がヒノキから離脱する目安とされる25本に近づいている（表2参照）。
- 7 防除上の注意等
 - （1）果樹園への飛来時期が近づいており、園ごとに園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。カメムシ類は広範囲に移動するため、防除は広域一斉が効果が高い。
 - （2）薬剤散布に当たっては、極力風の無い時を選ぶとともに、風向きに注意する。また、適正な散布圧で、飛散の少ないノズルを使用する等周辺作物への飛散防止の徹底を図る。
 - （3）防除に当たっては、農薬使用基準（適用作物、使用量、希釈倍数、使用時期、総使用回数）を厳守する。
 - （4）最新の果樹カメムシ類の発生状況については、病虫害防除所ホームページを参照する。

表1 チャバネアオカメムシの年次別誘殺数とカキの被害程度

年次	越冬量 (頭/m ²)	ヒノキの 球果量	誘殺数(筑紫野市)(頭)				被害度(カキ)			
			前期	後期	合計	発生型	西村	伊豆	松本	富有
H1	0.4	中	60	2,879	2,939	後期	3.9	3.8	4.8	2.7
2	2.1	やや多	750	125,700	126,450	"	10.8	12.6	12.6	16.8
3	5.5	"	2,291	1,841	4,132	無峰	1.5	5.0	7.5	7.0
4	1.3	極少	3,025	1,102	4,127	前期	2.6	3.8	5.0	2.6
5	0.1	やや多	69	157	226	無峰	1.1	0.2	0.2	
6	1.3	極少	2,876	677	3,553	前期	1.9	4.1	0.6	2.2
7	0.1	極多	12	1,087	1,099	後期	0.02	0.1	1.0	1.4
8	14.8	少	30,291	11,916	42,207	前期	9.4	7.8	13.4	11.2
9	0.2	やや少	61	113	174	無峰	0.2	0.2	0.3	0.8
10	0.5	"	4,790	69,123	73,913	後期	0.7	0.6	5.8	5.5
11	0.6	やや多	1,771	6,580	8,351	"	1.5	1.1	4.2	3.6
12	1.3	少	12,457	2,969	15,426	前期	3.1	5.5	2.9	2.5
13	0.1	多	48	57,198	57,246	後期	0.2	5.9	5.5	6.1
14	4.6	中	48,588	10,172	58,760	前期	9.1	8.7	15.2	9.6
15	0.3	やや多	26	2,444	2,470	後期	0.1	0.2	2.0	2.3
16	4.7	極少	66,830	25,643	92,473	前期	4.4	6.4	9.2	6.4
17	0.1	多	20	1,877	1,897	後期	2.4	1.2	0.8	2.0
18	1.8	やや多	3,743	16,472	20,215	後期	9.1	3.7	20.0	8.7
19	1.1	極少	975	2,678	3,653	後期	1.3	0.4	3.8	0.4
20	0.5	やや多	797							

注1 越冬量は県内平均値、被害度(収穫前調査)は朝倉農林管内の平均値(60~70か所)

注2 予察灯による調査期間は、前期:4~7月、後期:8~10月

注3 被害度 = { (N₁ × 1 + N₂ × 3 + N₃ × 5) / (調査果実数 × 5) } × 100

N₁: 吸汁痕数1~2の果実、N₂: 吸汁痕数3~4の果実、

N₃: 吸汁痕数5以上の果実

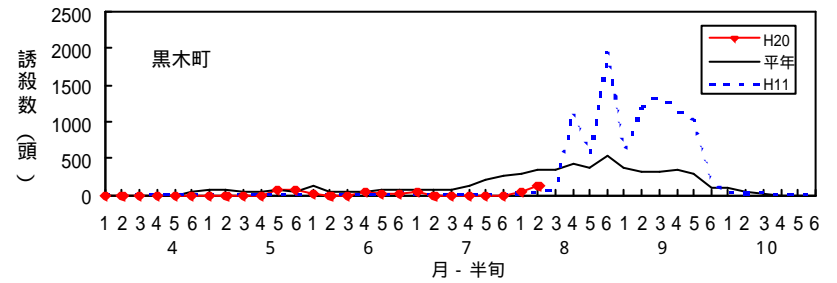
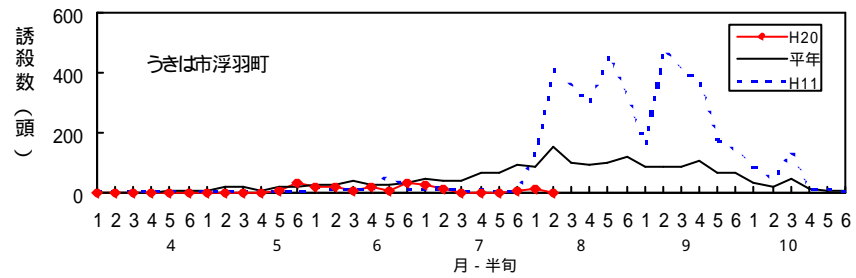
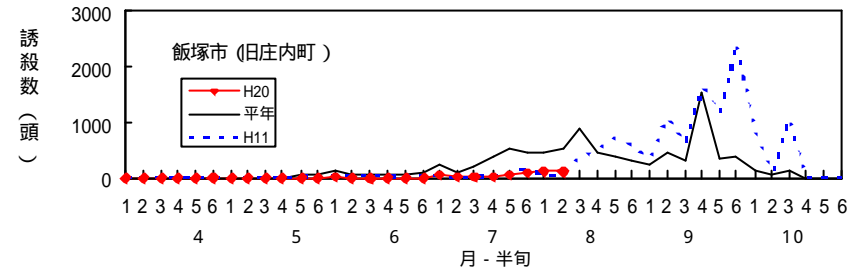
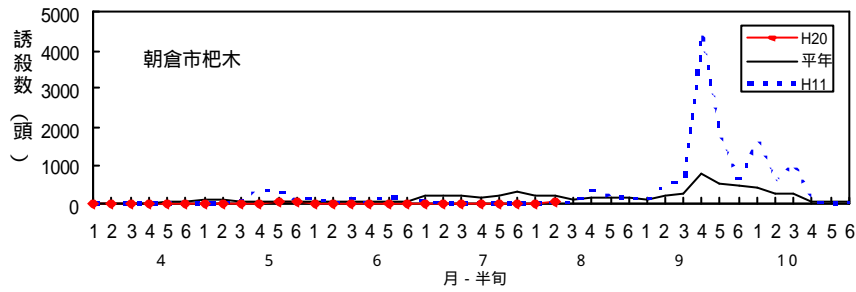
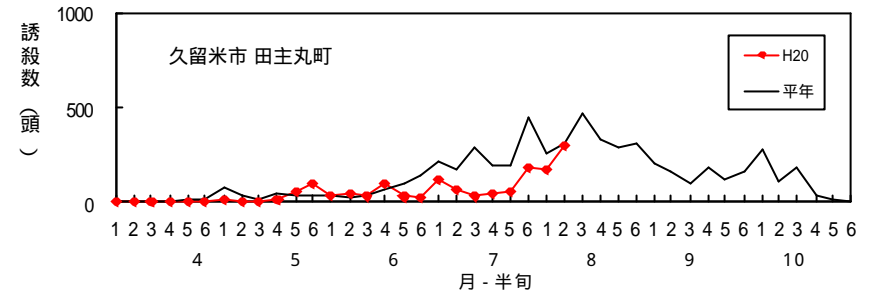
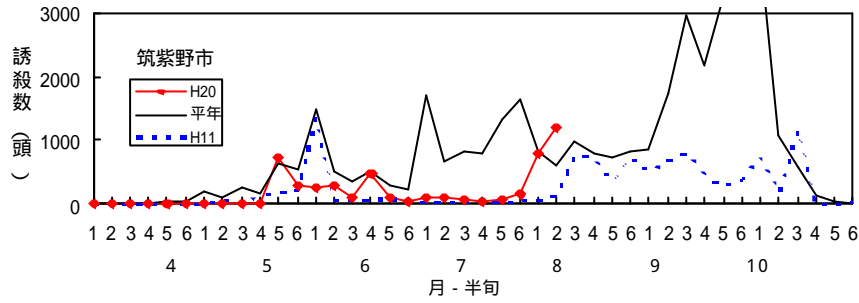


図 予察灯による主要3種カメムシの誘殺数の半旬別推移

注) 平年値は、多発年である16年を除いた前9か年

表2 ヒノキ球果の口針鞘数及びヒノキのピーティング調査によるカメムシ類の寄生虫数

調査時期：8月2半旬

調査場所	口針鞘数調査		ピーティング調査(頭)													3種の合計		
	ヒノキ球果		チャバネアオカメムシ								ツヤアオカメムシ			クサギカメムシ				
	被害球果率(%)	口針鞘数(本)	成虫数	幼虫数					計	成虫数	幼虫数	計	成虫数	幼虫数	計			
		1令		2令	3令	4令	5令	計										
本所管内	宗像市山田	40	3.8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	前原町高祖	65	1.8	4	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	0	5
	古賀市青柳	90	5.2	2	0	0	1	0	0	1	3	3	0	3	1	0	1	7
	久留米市田主丸町益生田	75	3.1	0	0	7	0	0	0	7	7	3	0	3	0	0	0	10
	久留米市田主丸町森部	100	8.4	2	0	6	0	1	2	9	11	0	1	1	0	0	0	12
	うきは市浮羽町小塩	90	3.9	4	0	0	0	0	0	0	4	30	0	30	1	0	1	35
	朝倉市柿原	65	4.3	1	0	0	0	0	0	1	1	2	8	10	0	0	0	11
	朝倉市屋形原	85	9.8	11	0	10	0	1	3	14	25	12	4	16	0	0	0	41
	朝倉市宮野	100	15.8	0	0	0	0	1	1	1	1	1	3	4	0	0	0	5
	朝倉市須川	30	1.3	0	0	1	0	1	0	2	2	2	4	6	0	0	0	8
	朝倉市杷木町志波	50	2.4	2	0	0	1	1	0	2	4	1	3	4	2	1	3	11
	庄内町入水	45	1.3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2
	平均(12か所)	69.6	5.1	2.3	0	2.0	0.2	0.3	0.5	3.0	5.3	4.7	2.0	6.7	0.3	0.1	0.4	12.3
筑後支所管内	大牟田市上内	100	19.7	16	6	2	11	6	11	36	52	0	3	3	0	0	0	55
	八女市宅間田	100	21.5	25	0	0	0	3	7	10	35	0	0	0	0	0	0	35
	みやま市山川町立山	100	15.2	11	0	1	0	2	2	5	16	5	3	8	0	0	0	24
	立花町白木	100	9.7	7	0	0	1	2	2	5	12	12	0	12	0	0	0	24
	立花町飛形山	100	17.6	32	0	3	5	10	7	25	57	18	0	18	2	0	2	77
	黒木町野田山	85	15.5	3	0	0	0	1	2	3	6	1	4	5	0	0	0	11
	黒木町今	100	17.3	9	0	0	0	0	0	0	9	11	0	11	0	0	0	20
	黒木町本分	100	21.6	4	0	2	2	2	8	14	18	0	6	6	0	1	1	25
	広川町梯	100	12.8	1	0	0	1	5	1	7	8	2	0	2	0	0	0	10
平均(9か所)	98.3	16.7	12.0	0.7	0.9	2.2	3.4	4.4	11.7	23.7	5.4	1.8	7.2	0.2	0	0.3	31.2	
行橋支所管内	岡垣町上畑	15	0.3	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	岡垣町戸切	15	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	みやこ町犀川町木山	20	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上毛町唐原	45	1.8	0	1	1	0	0	0	2	2	1	0	1	0	0	0	3
	築上町寒田	25	0.6	3	1	1	0	0	0	2	5	0	0	0	0	1	1	6
	築上町本庄	70	1.8	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2
平均(6か所)	31.7	0.8	1.0	0.3	0	0	0	0	0.7	1.7	0	0	0.2	0	0	0	2.2	
平均(27か所)	70.7	8.0	5.2	0.3	1.3	0.8	1.3	1.7	5.4	10.6	3.9	1.5	5.4	0.3	0	0.4	16.4	
本年7月5半旬	41.1	2.1	2.5	0.5	0.8	1.8	1.2	0.7	4.9	7.4	1.1	4.5	5.6	0.4	0	0.5	13.5	
平 年	61.7	7.6	3.3	0.3	0.8	1.0	0.8	1.2	4.0	7.3	0.4	0.7	1.1	0.1	0.0	0.1	8.5	

注1 口針鞘数調査は1地点当たり20球果、口針鞘数は20球果の平均

注2 ピーティング調査は、1地点5枝、1枝当たり5回のたたき落として、その合計虫数

注3 チャバネアオカメムシの卵から次世代の成虫になるまでの期間は、夏期の温度では約30~40日